

補助事業番号 28-1-028
補助事業名 平成28年度 自転車安全利用等、自転車と人にやさしい健康で安全な社会作りを推進する事業
補助事業者名 一般財団法人 日本自転車普及協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

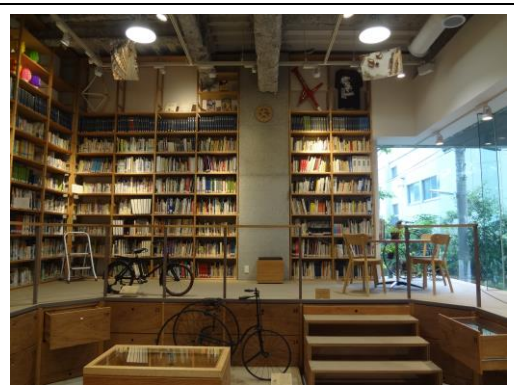
(2) 実施内容

1. 自転車情報提供事業

自転車の情報配信基地である「自転車文化センターライブラリー」を運営した。(来場者数7,861名)



自転車文化センターライブラリー正面



(専門図書・自転車展示)

また、自転車文化の継承と普及、人と自転車・社会と自転車との関わりを考える提案のための調査研究として、5テーマのレポートを作成し、調査研究報告書を全国都道府県立図書館や全国都道府県交通安全協会等に配布した。

[\(http://cycle-info.bpaj.or.jp/research/\)](http://cycle-info.bpaj.or.jp/research/)

2. 自転車普及啓発イベント

① 自転車月間イベント

<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/bikemonth/2016/2016info.html>

平成28年度自転車月間推進事業の報告と決算報告の審議及び平成29年度自転車月間

事業の実施計画と予算等を審議するため、自転車月間総会を開催した。

また、「自転車月間（自転車の日／5月5日）」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ 2016』を開催した（5,574名来場）



「サイクルドリームフェスタ2016」入り口



「サイクルドリームフェスタ2016」 会場の様子

②自転車に関する企画催事 [（http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100237）](http://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100237)

下記の企画催事を開催した。

名 称：「2017 ハンドメイドバイシクル展」

期 間：平成 29 年 1 月 21 日（土）～22 日（日）（2 日間）

場 所：科学技術館 1 階 催物場

内 容：国内外のハンドメイドバイシクルのビルダー、メーカーの「実車展示」

斬新な新機構を試作し製品化を目指す「独創的なパーツ展示」

ハンドメイドビルダーによるトークショー、体験コーナー開催

来場者数：計 3,172 人 （1 日目 1,609 人/2 日目 1,563 人）



会場の様子



競輪選手によるスペシャルトークショー

③自転車に関するテーマ展示

自転車文化センターライブラリー・ギャラリーにおいて、来館者に自転車の奥深

い魅力や多様な活用法を紹介するため、以下4テーマの特別展示を行った。

(1)「自転車月間・自転車ロードレース<ツアー・オブ・ジャパン>展」

期間:平成28年4月6日~7月3日

来館者数:2,118名

(2)「競技自転車の歴史展」

期間:平成28年7月6日~10月2日

来館者数:2,021名

(3)「おもしろ自転車展」

期間:平成28年10月5日~平成29年1月9日

来館者数:1,991名

(4)「錦絵が語る明治から昭和初期の東京名所と自転車展」

期間:平成29年1月12日~3月31日

来館者数:1,731名



「自転車月間・自転車ロードレース
<ツアー・オブ・ジャパン>展」



「競技自転車の歴史展」



「おもしろ自転車展」



「錦絵が語る明治から昭和初期の東京名所と
自転車展」

④自転車出張教室

(1)「自転車交通安全講習会」

日 時 平成28年4月11日（月） 15時～16時
主 催 Kインターナショナル東京
場 所 Kインターナショナルスクール東京校内
人 数 15名

(2)「親子自転車交通安全教室」

日 時 平成28年7月2日（土） 10時～
主 催 川崎市幸区PTA協議会
場 所 川崎市立西御幸小学校体育館内
人 数 300名

(3)「自転車安全講習会」

日 時 平成28年7月13日（水）・14日（木） 10時～12時
主 催 公益社団法人 杉並区シルバー人材センター
場 所 下高井戸区民集会所（13日）・方南会館（14日）
人 数 53名（12日:22名／13日:31名）

(4)「静岡県交通安全リーダー合同研修会」

日 時 平成28年10月13日（木） 14時～15時
主 催 静岡県暮らし・環境部
場 所 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」5回501会議室
人 数 70名

(5)「自転車安全講習会」

日 時 平成28年11月22日（火） 9時45分～11時45分
主 催 公益社団法人 文京区シルバー人材センター
場 所 文京シビックセンター四階シルバーホール
人 数 約380名

(6)「自転車のシミュレーターを使った自転車安全講習会」

日 時 平成28年10月18日（火）・19日（水）13時30分～16時
主 催 公益財団法人 東京しごと財団
場 所 東京しごとセンター
人 数 34名（18日:17名／19日:17名）

(7)「自転車安全講習会」

日 時 平成28年12月8日（木） 14時～15時
主 催 公益社団法人 杉並区シルバー人材センター（高井戸分室）
場 所 杉並区立高井戸地域市民センター2階 多目的室
人 数 39名

(8)「自転車事故の特徴と、その防止」座学

日 時 平成28年12月21日（水） 14時30分～18時
主 催 全国大学生生活協同組合連合会
場 所 大学生協杉並会館 地下会議室
人 数 39名

(9)「自転車安全講習会」

日 時 平成29年3月13日（月） 午前の部 9時45分～12時
午後の部 13時15分～15時30分

主 催 公益社団法人 葛飾区シルバー人材センター

場 所 同センター3階会議室

人 数 38名（午前:19名・午後19名）



親子自転車交通安全教室
（川崎市立西御幸小学校）



交通安全リーダー合同研修会
（静岡県くらし・環境部）



自転車安全講習会
（東京しごと財団）



自転車安全講習会
（葛飾区シルバー人材センター）

3. 自転車による地域活性化促進事業

①全国統一自転車促進キャンペーン <http://www.bpaj.or.jp/?tid=100010>

バイコロジー運動の推進を図るため、バイコロジーをすすめる会地方組織とともに事業を実施した他、バイコロジー地方組織の統一活動として交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を春・秋の全国交通安全運動期間中および5月の自転車月間にて実施し、バイコロジーの全国的な普及啓発を図った。



統一（岡山バイコロジ）

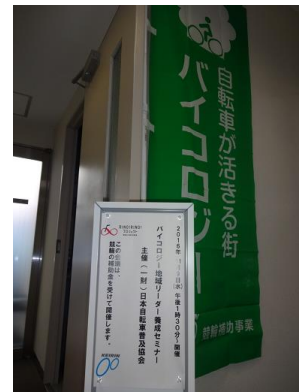


統一（防府バイコロジ）

②バイコロジ地域リーダー養成セミナー

(http://www.bpaj.or.jp/file_upload/100969/_main/100969_01.pdf)

自転車を安心して乗ることができる環境づくりや今後の自転車のあり方を検討し、自転車市民権運動の活発化を図るため、バイコロジ地方組織の地域ごとに講師を招聘し、バイコロジ運動のリーダー育成を目的としたセミナー東京1か所において、開催した。



19組織23名、一般27名他関係団体12名 合計62名参加

2 予想される事業実施効果

1. 自転車情報提供事業

自転車に関する様々な情報を提供することにより、日本における自転車文化の形成を促し、交通ルールやマナーなど正しい自転車の利用方法に関連する知識を身につけ、昨今続いている自転車ブームを更に成熟させる役割の一翼を担うことで、自転車産業の振興や人々の暮らしへの貢献に資することが期待できる。

また、社会的な課題など関心の高いテーマなどを取り上げることで、マスコミや地方自治体、一般の方からの問い合わせが増え、自転車文化センターの果たすべき役割である自転車文化の継承と普及が期待できる。

2. 自転車普及啓発イベント

①自転車月間推進事業

自転車月間事業を円滑に推進することにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想され、「自転車の日」記念事業を通じて、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

また、平成29年5月1日付で議員立法による「自転車活用推進法」が施行され、同法第14条で「5月5日は自転車の日」「5月は自転車月間」ということが正式に定められ、本事業の意義と必要性が高まることが期待できる。

②企画催事

自転車に対する人気と関心が高まり続けている。人々の余暇や暮らしの質を高める重要なツールとして、また高齢化社会に向けて、乗り手の体格や用途・年齢や体力に応じた自転車の需要は、今後も益々高まると思われるため、それらのニーズを満たす自転車を一般の方々に広く知ってもらう機会が求められる。

③テーマ展示

自転車の様々な情報や展示に触れることで、自転車に対する社会的な関心を高め、本センター来場者の自転車への興味を更に高める。

3. 自転車による地域活性化促進事業

①全国統一自転車促進キャンペーン

現在の社会状況に合致したバイロジック運動のあり方、基本的な位置づけ、推進体制等を確認しつつ、中央団体・各地方組織ともその基本に添った具体的実践活動を展開してきたことから、バイロジック運動のより深い浸透が図られるとともに、今後は自転車活用推進法の施行により、国及び地方自治体における自転車乗用環境の整備促進や自転車の健全な普及啓発が進むものと期待され、本事業でもその一翼を担えるよう連携を深めたい。

②バイロジック地域リーダー養成セミナー

各地域におけるリーダーの育成により、「バイロジック運動」の普及推進が進み、地方組織の一層の活性化、拡充が期待できる。

自転車活用推進法第8条に定める重点的に検討・実施されるべき施策として上げられる15の施策の推進に寄与する人材育成の一翼を担うことが期待される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

- ・平成28年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業報告書

(<http://www.bikecology.bpaj.or.jp/bikemonth/2016/2016report2.html>)



・平成28年度自転車月間「自転車の日」記念行事『サイクルドリームフェスタ2016』
来場者案内用チラシ


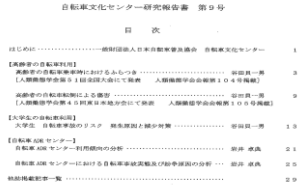
<p>チラシ(表)</p>	<p>チラシ(裏)</p>

・ 自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット

	
<p>パンフレット(表)</p>	<p>パンフレット(裏)</p>

・ 自転車文化センター研究報告書(第9号)

(http://www.cycle-info.bpaj.or.jp/file_upload/100246/_main/100246_01.pdf)

	
<p>報告書(表紙)</p>	<p>報告書(目次)</p>

・出張教室自転車安全利用啓蒙映像



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 日本自転車普及協会(ニホンジテンシャフキュウキョウカイ)
住所： 〒141-0021
東京都品川区上大崎3丁目3番1号
代表者： 代表理事 田中栄作(タナカ エイサク)
担当部署： 事務局(ジムキョク)
担当者名： 事務局長 大島 武巳(オオシマ タケミ)
電話番号： 03-4334-7952
F A X： 03-4334-7957
E-mail： jifukyo@jifu.jp
U R L： <http://www.bpaj.or.jp>